

『市川市史』編さん事業について

既刊の『市川市史』

本市では、過去に市制施行30周年記念事業として、1970年代までの市川の歴史をまとめた『市川市史』全7巻8冊を刊行しています。



(既刊の『市川市史』全7巻8冊)

以来、今日まで30年以上が経過し、この間、本市は急速な都市化とともに大きな変貌を遂げ、市民生活を取り巻く環境もめまぐるしく変化してきました。このような社会変化の中、地域の貴重な史料が散逸し、各地の習俗や伝承が失われつつあります。しかし一方、守られてきた自然、新しく根付いた地域文化の存在も見過ごせません。近年、こうした地域の変遷を物語る文化遺産を後世に伝えるための取りくみが求められてきました。

新しい『市川市史』

こうしたなか、市川市では平成20年度、新しい『市川市史』の編さんのため、市川市史編さん委員会を設置しました。

現在、市川市史編さん委員会では、既刊『市川市史』刊行後の現代史、および新たに得られた歴史的知見、さらには既刊市史では取り扱っていない自然・環境・民俗等を加えた、新しい『市川市史』の編さんに着手しています。

刊行計画

事業期間は概ね10年の計画で、全7巻を発行する予定です。現在の刊行計画は、以下のとおりです。

第1巻 地形と環境

(平28年度刊行予定)

第2巻 ムラとマチ

(平29年度刊行予定)

第3巻 古代国府と中世府中

(平成28年度刊行予定)

第4巻 変貌する市域

(平29年度刊行予定)

第5巻 民俗

(平成26年度刊行予定)

第6巻 自然とその変遷

(平成26年度刊行予定)

第7巻 通史編

(平成29年度刊行予定)

このほか、市史編さん事業の一環として、冒頭にご紹介した「市史研究いちかわ」の刊行（平成21年度より毎年）、『写真図録（仮称）』の刊行を計画しています。

市民の皆様には、史料等の情報提供をはじめ、様々な面から市史編さん事業にご支援ご協力いただければ幸いです。

新しい『市川市史』がめざすのは、“わかりやすく親しみやすい市史”です。学術的に高い水準を保ちながらも表現はわかりやすく、また、時代のニーズに合わせ電子媒体も活用しながら、様々な年代の方に受け入れられ、親しまれる市史をめざします！